

多賀ささゆり保育園

日時：平成 18 年 1 月 27 日(月) 13:00 ~ 17:00

平成 18 年 12 月 1 日(金) 9:00 ~ 17:00

場所：多賀町多賀 1 5 0 8

多賀ささゆり保育園は、3年目の新しい保育園です。園の周りには桜やモミの木など多くの木が植わっています。子どもたちが普段使っている園庭でのプログラムができました。

「落ち葉のファッションショー」のプログラム

園庭にたくさん落ちている葉っぱを、カラーポリ袋に貼りつけて落ち葉の服を創ります。葉っぱにはいろいろな色があり、形があることに気づきます。

赤い実
やドングリも
あるよ



いろんな
形の葉っぱが
あるね



お花の
模様にし
ようかな？

ドングリ
をつけよう



すそ
裾のところを
がんばったよ



葉っぱでシ
ュリケンを
作って、模様
にしたよ



いろいろ工夫した服が出来
上がりました。この葉っぱ
はみんながプールに入っ
ていた頃は何か色だったかな？
秋になって、茶色や赤、黄
色になったね。まだまだ変
身します。今日作った服は
お部屋に飾って、どんな色
に変身するか見てくださ
い。

「木とお友だちになろう」のプログラム

桜の木でかくれんぼをしてあそんだ後、大好きな桜の木を探し、ルーペで見たり、触ったりして観察します。春には花を咲かせていた桜の木が秋には変化していることを知ります。



桜の大木の後ろにかくれんぼ

洞窟み
たいな
のがある



コケは海
の中にい
るみたい
や

みんなが来て
くれて、木が喜
んでいるの

桜の木は毛
が生えてい
るで

しわがいっ
ぱいや



桜の木の観察
後、桜の木の
気持ちになっ
たり、見立
たりして絵を
描きました



枝が角に見え
たので、トナ
カイを描いたよ



・春に花を咲かせていた桜の木は秋にはどうなっていたかな？冬になったらどうなるんだろう？桜の木の一年を振り返って見ましょう。
・桜の木は温かかったし、けがをしたところを自分で直す力もありました。動けない桜の木も生きていることがわかりました。

「みんな集まれ ハッピークリスマス!!」のプログラム

園庭にある大きなモミの木に、木の精(ミモとモーミ)に扮した支援者と一緒に様々な色や形の落ち葉や実を探し、飾り付けをします。そのモミの木と既成のクリスマスツリーを比較し、自然の優しさに気づきます。



サンタの袋の中に、麻紐とご飯が入っていました。



麻紐をつけて完成。

ご飯て、本当にひつつくんや。

グチュットするとよくつくよ



葉っぱで作った星をもっと高いところにつけたいなー。



変わらんツリーと変わるツリーや

自然や鳥が喜ぶステキなツリーができました。葉っぱは落ちたらどうなるかな？みんなが作ったモミ木の飾りは落ちるとモミの木の栄養になるし、赤い実は鳥の食べ物になります。自然に優しいツリーです。既成のクリスマスツリーの飾りは落ちたらどうなるんだろう？

声

参加された先生の

自然体験というと園外に出ないとできないと思っていたが、園庭でもこんなに自然と関わることができるのだと、改めて認識した。

子どもたちを客観的に見られたことで、新しい発見もあった。どんなふうに自然のメッセージが子どもたちに伝わったのか楽しみだ。

先生方と悩みながらプログラムを作ったが、大変いい勉強ができた。今まで忙しくて自然に関わることができなかったが、今日はじっくり関わることができてよかった。明日からはこの研修を活かしていきたい。

いつも使っている園庭なのに、こんなに多くの木があるとは思わなかった。この研修で気づけてよかったと思う。

自然の中であるあそびの楽しさに、子どもたちがワクワクしていることに気づかされた。

Q & A

(解答:講師 環境レイカーズ代表 島川武治(しまっち))

Q:自然体験をするには、支援者も知識がないとできないように思いますが、どうでしょうか？

A:「知識がないとできない」というのではなく、「五感を使って子どもたちの視点で自然を感じる」ことが大切です。そのために知識を得るのです。知識を得るコツは子どもたちの疑問やつぶやきを逃さないことです。子どもたちのつぶやきをメモに取り、そのことを調べて、子どもたちに伝えます。「つぶやきを逃さない、メモを取る、調べる」という視点をいつも持っている、あの時子どもたちのこんなつぶやきがあったと、保育を続けていく上で大きな財産になると思います。